

# 奥畠線乗合タクシーのデマンド化と 大島病院患者輸送バスの統合に伴う 代替措置の検討

## 【背景】

- ・ 奥畠線乗合タクシーのデマンド化に伴い、  
1乗車500円/1ヶ月3,000円に値上げされる。
- ・ 大島病院患者輸送バス（屋代方面）も、  
デマンド化に伴い統合・有償化される。
- ・ 有償化に伴い、従来の患者輸送バス利用  
者に対する代替措置を検討する。

## 【補足情報】

- ・ 大島病院患者輸送バスは、月に2回以上  
利用している人が一定数存在し、往路で  
利用した人は復路も利用することが多い。

## 【代替措置検討に際して考慮すべき事項】

- ・ 病院の協力が得られそうな内容か
- ・ 事業者の協力が得られそうな内容か
- ・ 代替措置を受けられる人と受けられない人の格差が著しく大きいかどうか
- ・ 大島病院来院頻度の多い人/少ない人の双方に対してカバーするかどうか
- ・ 大島病院 ⇄ 小松港バス停を乗り継いで  
町外（大畠駅）まで直接利用する人を  
排除できるかどうか
- ・ 代替措置に伴う町の費用負担、事務負  
担が大きすぎないかどうか

## 病院利用者への無料措置

### 概要

- ・大島病院で乗降する人は無償とする。
- ・復路も大島病院で乗車する人は無償とするが、寄り道をする場合の寄り道先からの帰宅時は有償となる。

### 利用の流れ

- ・奥畠線乗合タクシーを利用して大島病院で降車時に運転士から「利用証明書」を受け取る。
- ・利用証明書を受付に提出する。(診察券と同時)
- ・診療費精算時に「日付・名前入り復路無料券」を交付する。
- ・復路利用時(病院発)に無料券を利用してもらう。

### 考慮すべき事項

	メリット	デメリット
病院協力		<ul style="list-style-type: none"><li>・病院側に日付・名前入り復路無料券の交付が必要となる。</li></ul>
事業者協力		<ul style="list-style-type: none"><li>・利用証明書の交付と、復路無料券の確認が必要となる。</li></ul>
格差	<ul style="list-style-type: none"><li>・現状の病院バスと同様の格差である。</li></ul>	
来院頻度	<ul style="list-style-type: none"><li>・高頻度利用者でも追加負担が発生しない。</li></ul>	
乗継排除		<ul style="list-style-type: none"><li>・町外へ移動する人にとっては、大島庁舎ではなく、大島病院で乗継して運賃負担を逃れる可能性がある。 (往路分のみ乗継負担ゼロ、復路は乗継負担あり)</li></ul>
町の負担		<ul style="list-style-type: none"><li>・運賃負担を逃れる利用者が多い場合、町の負担が大きくなる可能性がある。</li></ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"><li>・定期券を購入してもらう動機づけが薄れる。</li><li>・病院利用以外の人も往路のみ無料となってしまう。</li></ul>

## 利用イメージ

- ・ 大島病院も有償運送の対象であるが、大島病院で降車した人へは運賃を取らない。（減免措置が講じられている状態）
- ・ 復路については、病院で復路無料券の交付を受けていて、かつ病院発の利用でのみ減免措置を受けることができる。  
(病院以外からの乗車、無料券の交付を受けていない人は有償)

